

日本臨床泌尿器科医学会報

日本臨床泌尿器科医会のURL

<http://www.uro-ikai.jp>

第 54 号

巻 頭 言

日本臨床泌尿器科医会 会長 宮崎 良春

去る4月23日(日)に、京都府で行われました第21回日本臨床泌尿器科医会総会で3期目の会長に選出されました。これからの2年間誠心誠意会務に努める所存ですので、改めて御指導、御鞭撻をお願い致します。

7月14日・15日東京お台場で行われました第18回Men's Health医学会に参加し、日本医師会今村副会長の講演の座長を勤めさせていただきました。その後、鴨下一朗衆議院議員の講演を拝聴する機会もあり、堀江重郎理事長の泌尿器科だけにとどまらない開かれた姿勢に共感した次第です。

7月28日・29日に山口市で行われました第31回全国有床診療所連絡協議会総会に初めて参加し、厚労省保険局医療課長:迫井正深氏の話聞かせていただきました。それによると、有床診療所は主に専門医療を担うもの(眼科・耳鼻科など)と主に地域医療を担うもの(内科・外科など)に分けられ、前者は少ない人員体制で手術等の専門医療を効率的に提供するモデルとして今後とも役割が期待されるとし、後者は手術などない施設として収益を確保するためには、病床稼働率を上げることが必要であるとし、その為に短期入所療養介護の見直しを行い、それによって介護保険に参入する形となれば医療保険における急性期病院や地域包括ケア病棟よりの「在宅」としての転院が可能になるという改正が行われました。有床診療所への配慮が厚労者の姿勢に感じられる改正である。私事であるが、ESWLの施設基準を維持するために病院として30年近くやってきましたが、平成29年1月より19床の有床診療所に転換しております。

最近「未来の年表」という本2冊を読む機会がありました。人口減少の日本でどんなことが起きてくるかということがる述べてある。2015年の国勢調査で人口減少が確認され翌2016年には年間出生数が初めて100万人の大台を割り込んだ。いわゆる「2025年問題」は人口ボリュームが大きい団塊世代(1947年～1949年生まれ)が後期高齢者となり、その結果医療・介護費がかさむのではないかと懸念を政府は

持っている。安倍政権は国民希望出生率1.8の構想を打ち出しているが、おそらく希望通りにならず、人口が減少してゆくことになる。

われわれ医療人は政府の財政状況ばかり気にしているが人口減少に加えて超高齢社会が進んでいる日本の状況に合わせて、今までのような医療形態が存続してゆくのかということにも考えを及ぼさなければならない。泌尿器科にとって高齢化は望むところではあるがこれだけに安心してはいけないと考える。在宅医療にもう少し力を入れる必要がある。実際、在宅医療には泌尿器科の足場がない。現在の在宅の高齢者の排尿管理は内科医もしくは看護師の間でおこなわれているのが実情である。「地域包括ケアシステム」の導入がすすむにつれ、泌尿器科はカヤの外に置かれたままになるかも知れない。そういう危機感を持って我々も何らかの努力する必要があるように思う。

思うがままに述べてまいりましたが、最後に会員諸侯がますます健康であることを祈って筆を置くことにします。

敬具

平成30年8月31日

ワークショップを終えて

日本臨床泌尿器科医会 副会長 清原 久和

平成30年2月11日、12日の2日間、日本臨床泌尿器科医会(以下日臨泌と略します)のほとんどの理事が参加して、これからの活動方針についてワークショップを開催しました。理事の方々にはほとんどが地域の医師会や臨床医会の役員をされており臨床医会活動に積極的な方ばかりで1.日臨泌の理念、2.保健診療の取り組み、3. オフィスウロロジーの活動、の3つのグループに分かれ熱心に討議いたしました。

日臨泌の理念についてのキャッチコピーは～臨床泌尿器科の発展、そして地域医療への貢献～であり、①泌尿器科保険診療の向上②泌尿器科診療の質・経営基盤の支援、③泌尿器科医のライフプラン支援④組織基盤の強化⑤行政及び他領域組織との連携が提案されました。

保健診療の取り組みについてキャッチコピーは～泌尿器科保険診療のみえる化～であり、①日臨泌独自の改定要望、②主催している全国審査委員懇談会より会員への情報提供、③泌尿器科保険教育は日臨泌に任せていただく、④日臨泌保険事業の広報が提案された。①については早速4月に外保連への加入が認められ、今まで活動してきた日本医師会診療報酬検討委員会とともに日臨泌独自の道が開けました。②④については会員専用のWebにて可能な限り公表する③日本泌尿器科学会の保険講習の講師を学会より正式に日臨泌に依頼していただく(実質的には従来通り)ことが提案されました。また保険診療の手引きも今まで通り改定ごとに発行し一部CD化することが提案されました。

オフィスウロロジーの活動の理念は泌尿器科開業医の診療の質の向上と経済的基盤の強化に貢献することであり、①オフィスウロロジーとしての保険審査についての問題点、要望事項について情報収集する(すでに1回実施されました)②在宅医療をはじめとして高齢者排尿管理評価に取り組む、③泌尿器科開業医の診療実績(レセプトの平均点数)の集積④オフィスウロロジストの全国組織体制を、全国7ブロック、都道府県別に構築することが提案されました。

以上の内容がおおよその骨子ですがこれら以外にも病病、病診、診診などの地域連携、医療安全、地域の医会との関係、広報のあり方など議論する項目が残されています。いずれにしろ上記の内容を具体的な作業に落とし込んで進行管理し、絵に描いた餅にならないようにすることが肝要であり、今後とも会員の先生方のご意見、ご理解、ご賛同、ご協力をお願いいたします。

副会長就任のご挨拶

日本臨床泌尿器科医会 副会長 齋藤 忠則
医療法人伯鳳会 東京曳舟病院 泌尿器科部長

本会との関りは、東京泌尿器科医会理事として活動していた時に遡ります。当時の会長の、故町田豊平先生に日本臨床泌尿器科医会の理事会があるからついてくるように誘われて参加したことが昨日のように思い出されます。その後、常務理事として、社会保険部会に所属し微力ながら本会の保険活動をしてまいりました。故吉田英機前会長のご指導のもと、厚生労働省所管の中央社会保険医療協議会の下部組織である、診療報酬専門組織医療技術評価分科会委員、先進医療専門家会議技術専門委員、診療報酬専門組織MDC作業班長会委員、診断群分類(DPC)MDC11(泌尿器科・腎臓内科)班長、患者申出療養評価会議技術専門委員、費用対効果評価ワーキンググループ技術専門委員、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)技術委員などの政府系委員を任命されるに至り、COIの関係上、日本臨床泌尿器科医会の社会保険部会委員から顧問として在籍し、引き続き活動を継続させて頂きました。

また、社会保険診療報酬支払基金東京支部医科審査委員会 泌尿器科主任審査委員として、日本泌尿器科学会総会時に行われている全国社会保険・国民健康保険泌尿器科審査委員懇談会の運営に係わらせていただきました。

平成30年2月11日の日本臨床泌尿器科医会ワークショップに参加させて頂き、保険担当理事の皆様との話し合いの中で、外科系学会社会保険委員会連合(外保連)に参加し、直接、厚生労働省とのヒアリングを通じて、本会よりオフィスウロロジーの診療報酬上の要望をする必要性が認識され、賀屋仁理事(保険委員会委員長)の御尽力により、保険委員会として平成30年4月の外保連総会にて、加入を果たしました。

今回、平成30年4月22日の日本臨床泌尿器科医会総会にて副会長就任を拝命し、本会の運営に、より一層の活動をさせていただくとともに、全国の臨床医会の支部に保険講演を通じて保険知識の普及と、会員の要望の収集に尽力したいと存じます。会員の皆様方の支えにより任務を全うさせていただきたいと存じますが、何分微力ですので、皆様方のより一層の御指導、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

常務理事就任のご挨拶

日本臨床泌尿器科医会 常務理事 岩佐 厚
岩佐クリニック

本年、4月22日を持ちまして、常務理事に就任いたしました、岩佐 厚と申します。よろしくお願い致します。

私は、1985年に東海大学を卒業し、同年、大阪大学泌尿器科学教室に入局いたしました。1994年に泌尿器科単科で開業し、2004年から大阪泌尿器科臨床医会の財務委員長を拝命して現在まで会の運営、システム化、法人化に尽力してまいりました。

大阪泌尿器科臨床医会は、日本臨床泌尿器科医会の礎を作った歴史がございますが、今後は保険診療体制、専門医、広告規制など急激な時代の変化に即したより迅速な対応が求められる時代だと思えます。

日本臨床泌尿器科医会でどのような活動ができるか暗中模索でございますが、先輩方のご指導の下、泌尿器科への恩返しのため常務理事の責務を果たす所存でございます。

まだまだ若輩者ではございますが、ご指導ご鞭撻程、何卒よろしくお願い致します。

監事就任のご挨拶

日本臨床泌尿器科医会 監事 蓑田 国広
宮崎市 みのだ泌尿器科医院

この度、吉田豊彦先生の後任として日本臨床泌尿器科医会監事に推挙戴きました蓑田です。

以前より理事職でしたが、この度監事と言う更なる重責を頂きましたので、微力乍ら務めさせて頂きたいと思えます。

又私事ながら、当地におきまして国保審査委員を10数年務めてきましたが、そろそろお役目御免となる予定でしたが、片や本年4月から宮崎県泌尿器科医会長を拝命しましたので、もうひと踏ん張りせねばと思う次第です。

さて、来年11月には大分県に於いて第15回臨床検討会が開催されますので、酒本貞昭先生共々多数の先生方の御参加をお待ち申し上げます。

(これにて、簡単ですが御挨拶に代えさせて頂きます。)

新理事就任のご挨拶

日本臨床泌尿器科医会 理事 車 英俊
医療法人さくら 馬車道さくらクリニック

このたび、日本臨床泌尿器科医会理事を拝命致しました。

私は、平成3年に防衛医大を卒業後、防衛医大から北里大学大学院を経て東京慈恵会医科大学に籍を移しながら長らく大学病院に勤務していましたが、縁あって5年前に横浜にクリニックを開設しました。大学病院から開業医に転じますと、専門的な知識や技術が正当に評価されていないと感じることが多くあります。

また、近年在宅診療への転換とともに在宅で排尿を専門的に管理することのできる泌尿器科へのニーズは急速に高まっているにもかかわらず、専門的な知識と技術を駆使して在宅医療に貢献してもそれが正当に評価されているとは言えません。

私は、会員の皆様が臨床の現場で直面している様々な身近な問題が少しでも改善の方向に向かうことができるよう、微力ながら尽力する所存です。

まだ若輩で右も左もわからない状態ではありますが、皆様にご指導いただきながら少しでもお役に立てるよう鋭意努力する所存ですので、何卒よろしくごお願い申し上げます。

新理事就任のご挨拶

日本臨床泌尿器科医会 理事 小林 真也
宮の沢腎泌尿器科クリニック

この度、ご推挙頂き理事に就任いたしました。まず自己紹介を申し上げます。

私は昭和57年北大卒で、平成10年まで大学に勤務、関連病院勤務医を経て、平成15年に開業致しました。現在は腎臓内科医も加え、泌尿器科・透析・腎臓内科を標榜する2つのクリニックを開設しております。地元の北海道臨床泌尿器科医会では、一昨年から、故富樫正樹先生の後任として会長を務めております。

北海道臨床泌尿器科医会は20年前の創設当時、猪野毛健男先生、丹田均先生、故丸彰夫先生らのご尽力され、多数の会員を募りました。しかし、現在は会員の高年齢化も進み、将来に向けて若手の入会者を増やすことが喫緊の課題と考えております。

臨床泌尿器科医会は、診療報酬を含めた泌尿器科医療環境改善活動において独自の役割を担っております。微力ではありますが、それら活動の一端を担えるよう努力する所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新理事就任のご挨拶

日本臨床泌尿器科医会 理事 富士 幸蔵
昭和大学医学部泌尿器科学講座

今年度より日本臨床泌尿器科医会理事を拝命致しました。

私は昭和62年に昭和大学医学部を卒業するとともに泌尿器科学講座に入局し現在に至っております。

私どもの講座は本医会の前会長を務めさせて頂きました吉田英機が平成2年から平成19年まで主任教授を務めた教室であり、医療保険への収載申請や審査にまつわる事項を見聞きする機会も多く、保険制度に親しむ環境にありました。そのため、私も平成13年から日本泌尿器科学会保険委員会の末席に加えて頂き、特に平成15年に導入されたDPC制度では準備段階からワーキンググループメンバーとして色々と学ばせて頂きました。その後も斎藤忠則副会長(前日本泌尿器科学会保険委員長)はじめ多くの先輩諸氏のご指導を仰ぎながら保険関係の仕事に携わり、現在は日本泌尿器科学会保険委員会常任委員だけでなく、厚生労働省ICD専門委員会委員、外保連処置委員会副委員長なども務めさせて頂いております。

今後は日本臨床泌尿器科医会においても、主に保険関係で微力ながら皆様のお役に立てればと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。

保険委員会発足と活動報告について

日本臨床泌尿器科医会 保険委員長 賀屋 仁
南はとがや泌尿器科・内科クリニック顧問

本年4月に保険委員長を拝命し、保険委員会活動を開始したところです。体制としてまだ不十分な点がありますが、できることから手を付けていきたいと行きたいと思っておりますので宜しくお願いします。

日本臨床泌尿器科医会(日臨泌)の保険活動を以下に述べます。第2代目会長・故吉田英機先生が泌尿器科診療報酬の改定、適応拡大、項目の新設に多くの貢献をされたのが始まりです。第3代目の現会長・宮崎良春先生は現日本医師会長・横倉義武先生と強いつながりをお持ちで厚労省、日本医師会と強くつながりを持っています。また、社会保険部活動として泌尿器科及びその関連領域の保険医療の改善と「保険診療の手引き」の発行、全国審査員懇談会開催を行うなどの情報提供をしてきました。今日までの要望は内科系学会社会保険連合(内保連)を通じるか、日本医師会の診療報酬検討委員会を通じても発信してきました。

「日臨泌のさらなる発展を考える」とのテーマで本年2月にワークショップが開催され(詳細はWEB)、社会保険部として討論が行われました。会員に対するアンケート結果では、会員の9割以上は国民皆保険制度を必要であると考えていますが審査結果については会員の7割が不満であるという意見がありました。現在、保険申請経路としては(1)日医・診療報酬検討委員会、(2)JUAを介しての外科系学会社会保険委員会連合(外保連)、内保連、(3)看護系学会等社会保険連合(看保連)以上3つの流れがあります。日臨泌としては(1)、(2)を通じての直接、間接的な活動を行ってきました。討論の中で、外保連加入し外保連から診療報酬新規・改訂要望書を提出すると厚労省と直接ヒアリングの機会を得ることができることが判明しました。日臨泌の意見を直接反映するためには外保連に加入することが必要であるとの結論になりました。理事会で外保連に加入することの承認を得たため、本年4月より社会保険部が保険申請活動を開始し、保険委員会として改称・発足しました。

外保連は、我が国の医療保険制度の中の外科系診療に対する、適正かつ合理的な診療報酬はどうあるべきかについて学術的に研究し、合理的な外科系診療報酬体系構築することを目的として設立された外科系学会連合です(外保連Webより)。外保連は1982年より診療報酬についての手術試案を手始めに外保連試案を作成しています。現在、外保連試案は手術、処置、生体検査、内視鏡などを含めた試案があり、冊子として2年毎に発行されています。日臨泌が作成した手術、処置などの提案書を試案と

して外保連に提出、承認されることによって診療報酬改訂の技術提案書として提出できます。試案には技術難易度、時間、医師数、助手数、必要物品など実態調査を行い50例以上の症例があった技術の調査データを反映した記載が必要になります。2020年度改訂分の新規提出期限は本年11月となっていますので皆様のご意見をアンケートとして集約し調整しています。また、オフィスウロロジー部会が発足・活動が開始され、部会から寄せられる要望が多岐に渡っていたため、保険委員会として検討しWeb上に公開したところです。

会員の皆様には保険診療の仕組みを理解していただき、エビデンスに則った新しい技術、既出技術提案を頂ければと考えます。提案書作成の際には会員の皆様に関連の調査、資料の作成などにご参加をお願いするようになると考えます。

今後とも宜しくご協力をお願いします。

事務局長より

事務局長 秋山 喜久夫

今年の夏は、酷暑といえますか猛暑でしたが、会員の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、6月に大阪府北部地震、6月末から7月初旬にかけての西日本を中心に北海道や中部地方など全国的に広い範囲で記録された台風7号および梅雨前線等の災害、四国・近畿を直撃した2018年最強の台風21号で被害に遭われた方、また9月7日の北海道での地震災害に遭われました方々に心よりお見舞い申し上げ、早期復興ができませんよう祈念申し上げます。

- ① 日本臨床泌尿器科医会第21回総会・合同講演会・全国審査委員懇談会を第106回日本泌尿器科学会総会時(平成30年4月22日・京都)に行いました。尚、本学会を主催されます小川 修教授ご協力によりまして盛会裡に終えることができました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。
- ② 日本臨床泌尿器科医会では、今後の活動について2月11日・12日と新大阪のホテルにてワーキングセミナーを行いました。オフィスウロロジー部門、社会保険部門、理念にわかれ、活発な討議がなされました。活動状況などをホームページにてお知らせできるように引き続き有意義な活動となることと思います。
- ③ 今年から外科系学会社会保険委員会連合(外保連)に加入いたしました。ますます、診療報酬について活動できることと思います。
- ④ 診療報酬改定の前後に「2020年度診療報酬改定に向けた要望項目アンケート」にご協力をいただき厚く御礼申し上げます。
- ⑤ 第14回臨床検討会は日本臨床泌尿器科医会理事の賀屋 仁先生が会長でパレスホテル大宮(埼玉県大宮市)、10月28日(日)にて行うべく準備をさせていただいております。同封のプログラム集をご参照の上、会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

また、今後も会員の先生方にお役に立つ情報がありましたら、ホームページ等でお知らせできればと思っております。引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

日本臨床泌尿器科医会 平成29年度事業報告

* 会報発行

1月 会報第51号発行
8月 会報第52号発行

* 総 会

4月23日 第20回日本臨床泌尿器科医会総会(鹿児島)
日臨床泌尿器科医会総会特別講演会(鹿児島)
8月31日 第106回日本泌尿器科学会総会 教授表敬訪問(京都)

* 会長講演

2月 9日 西宮市泌尿器科医会総会

* 日本臨床泌尿器科医会 20周年記念式典

6月 3日 明治神宮記念館

* 全国保険審査委員懇談会

4月 9日 東京、神奈川、埼玉、大阪保険審査委員検討会(東京)
4月23日 第32回全国保険審査委員懇談会(鹿児島)

* 日本臨床分科医会

1月26日 第17回代表者会議
8月24日 第18回代表者会議

* 保険教育プログラム・保健委員会

4月23日 総会(鹿児島)
9月15日～18日 東部総会(東京)
11月24日～27日 中部総会(大阪)
11月 9日～12日 西日本総会(大分)

* 理事会

2月 5日 第1回理事会(大阪)
4月23日 第2回理事会(鹿児島)
10月 8日 第3回理事会(大阪)
10月 8日 常任理事会

* その他

1月28日 「医学生・研修医をサポートするための会」(神奈川)
9月 9日 講演会(熊本)

日本臨床泌尿器科医会 平成29年度決算書

収入の部		支出の部	
会費収入	14,133,000	通信費	918,721
広告料収入	690,880	印刷費	817,700
銀行預金利息	63	会議費	1,074,691
		人件費	1,892,000
		交通費	3,811,550
		事業費	2,001,354
		事務用品費	117,899
		管理委託費	1,978,228
		事務委託費	694,779
		雑費(振込手数料)	163,082
収入合計	14,823,943	支出合計	13,470,004
平成29年度繰越	6,519,673	—	—
収入総合計	21,343,616	次年度繰越	7,873,612

財務委員長 秋山 善久夫 

以上、平成28年度の会計は相違なく、妥当と認めます。

平成29年 1 月 26日 監事 吉田 豊彦 

平成29年 1 月 30日 監事 成田 晴紀 

日本臨床泌尿器科医会 平成30年度事業計画案

* 会報発行

1月 会報第53号発行
8月 会報第54号発行

* 総 会

4月22日 第21回日本臨床泌尿器科医会総会(京都)
日本臨床泌尿器科医会総会特別講演会(京都)
8月頃 第107回日本泌尿器科学会総会 教授表敬訪問(千葉)

* 会長講演

2月 8日 西宮市泌尿器科医会総会

* 第14回臨床検討会

10月28日 埼玉パレスホテル大宮

* 全国保険審査委員懇談会

3月 東京、神奈川、埼玉、大阪保険審査委員検討会(東京)
4月22日 第33回全国保険審査委員懇談会(京都)

* 日本臨床分科医会

1月 第19回代表者会議
8月 第20回代表者会議

* 保険教育プログラム・保健委員会

4月19日～21日 総会(京都)
10月12日～15日 東部総会(東京)
10月 4日～ 7日 中部総会(名古屋)
11月 1日～ 4日 西日本総会(長崎)

* 理事会

2月12日 第1回理事会(大阪)
4月22日 第2回理事会(京都)
10月28日 第3回理事会(埼玉)
7月頃 常任理事会

* その他

1月25日 「医学生・研修医をサポートするための会」(富山)
2月11日～12日 ワークショップ

日本臨床泌尿器科医会 平成30年度予算案

収入の部		支出の部	
会費収入	16,500,000円	通信費	1,650,000円
		印刷費	3,000,000円
広告料収入	700,000円	会議費	1,200,000円
		人件費	1,850,000円
		交通費	3,500,000円
		事業費	3,400,000円
		事務用品費	200,000円
		管理委託費	1,600,000円
		事務委託費	1,800,000円
		雑費(振込手数料)	200,000円
収入合計	17,200,000円		
平成29年度繰越	7,873,612円	支出合計	18,400,000円
収入総合計	25,073,612円	次年度繰越	6,673,612円

◇ 事務局より ◇

- * 会報第54号をお届けいたします。
- ※ 平成30年度年会費及び過年度年会費未納の会員は、至急お振込下さい。
年会費 開業医・開設者 20,000円
勤務医・その他 3,000円
- ※ ホームページよりログインして、ご自身のマイページをご確認下さい。
- ※ 入会ご希望の方は、ホームページより入会申し込み書をダウンロードしてご利用下さい。
- ※ 転勤・転居・住所表記等の登録事項の変更等がございましたら、事務局まで変更届をFAXもしくはE-mailでお知らせ下さい。変更届は、会報やホームページよりダウンロードしてご利用下さい。
- ※ 個人情報の漏洩には、細心の注意を払いデータ管理をしております。

発行日／平成30年9月30日

発行行／日本臨床泌尿器科医会

〒662-0832

兵庫県西宮市甲風園1丁目10-11

秋山泌尿器科内

TEL:0798-65-0854 FAX:0798-65-0863

E-mail: akiyamahinyoukika@cosmos.ocn.ne.jp

発行責任者／宮崎 良春

製作／株式会社プランニング フォレスト

大森 啓次